

## 来自图书馆的消息



### 开放时间

星期一 ~ 星期五 (10:00-17:00)

星期六 (13:00-17:00)

图书馆内收藏有与日本和日语相关的书籍和影像资料。

## 新书介绍

国際交流基金 日本語教授法シリーズ 2

### 音声を教える

书名: 国際交流基金日本語教授法シリーズ第2巻  
「音声を教える」(含CD-ROM)  
作者: 磯村 一弘  
出版社: ひつじ書房  
出版时间: 2009年2月1日  
语言: 日语

### 内容简介:

全套书籍计划共发行14册,『音声を教える』是最新出版的第7册。本书贯穿了教授法系列丛书的“让读者边思考边阅读”的宗旨,既可以作为学生学习日语发音的辅导书,也是教师教授学生学习日语发音的教材。虽然书面是日语,但是重点内容都收录在所附的CD-ROM中,通过播放CD-ROM可以边看画面边听读音,即使对自己的日语阅读水平不够自信也能够灵活使用。如今,含CD的日语发音教材已经普遍发行,像这样能够看到图像的CD-ROM可以说实现了很大的进步。

本书不仅提供了具体的教授方法(也可作为学生的学习方法),而且全面收入了日语发音领域的理论知识。通过使用本书可以同时掌握日语发音的实践和理论。欢迎大家来图书馆阅览。



### 书名:《万叶集》

作者: 佚名

翻译者: 金伟、吴彦

出版社: 人民文学出版社

(日本国际交流基金会资助出版图书)

出版时间: 2008年2月

### 译者简介:

金伟, 1962年生于大连。西藏作家协会会员, 日本中国文化交流协会会员。1984年7月在辽宁大学中文系完成本科学业后赴西藏工作。1989年留学日本, 师从小川一乘先生研究西藏佛教, 同时从事日本古典文学作品的翻译工作。曾先后三次获得日本国际交流基金的援助, 翻译出版了《日本古代歌谣集》(2001, 春风文艺出版社)、《今昔物语集》(2006, 万卷出版公司)和《万叶集》(2008, 人民文学出版社)。目前, 金伟正在日本继续从事日本古典文学的翻译工作。

吴彦, 1962年生于大连。1984年毕业于北京师范大学中文系。1990年赴日留学, 专攻日本古代文学。1994年在日本武库川女子大学取得硕士学位后回国工作。在与金伟合作翻译日本古典文学作品的同时长年从事日本文学的教学工作。

# てふてふ

VOL. 05  
April 2009  
Newsletter

## 留华网in成都

井村雅代特别演讲会

2009年春季高中日语教师研修会

# 日本留学生眼中的成都“亲切，热情，坚强” ——留华网in成都

2008年12月，我们留华网一行飞往到了成都，进行这次三天两夜的成都之会议。

留华网是一个在华日本留学生的交流网络。散在北京、上海、大连、南京、成都、昆明、广州等城市的留学生们聚在一起，每年有四次的定期会议，交流彼此在各个城市展开的中日文化交流活动，分享互相的经验，提供有益的意见。这次是留华网第一次在北京外的城市举办会议，并进行中日交流活动。

第一天，我们参观了“中日交流之窗”（ふれあいの場），在进行了定期会议之后，我们留华网举办了与成都大学生的交流活动。中国同学大约有20名，分成5个小组，每个小组有1-2名留华网的同学进行交流。首先是Ice Breaking Game，即破冰游戏，通过“传语游戏”和“猜词游戏”，我们和成都朋友之间的陌生感完全没有了。随后，我们进入了讨论环节，话题是“2008年对你来说，是什么样的一个汉字？”。

讨论一开始，大家有点说不出口，可能2008年发生了太多的事情，无论对日本同学来说，还是中国同学来说，用一个汉字来代表一年确实有一定的困难。因此，我们一组决定想到什么词都先写出来再说。于是，大家说出了很多词，四川大地震的“悲”，团结的“结”，北京奥运会的“搏”，股市的“跌”



等等。我们通过一个中日共同的“汉字”，讨论得非常热烈。

接下来，我们又讨论了“2009年希望有什么样的一个汉字？”，发表了每个人对来年的期望。突破的“破”，幸福的“福”，牛市、牛年的“牛”，希望中日友好的“友”。最后，我们把所有2008年的汉字看成一枚落叶，把所有2009年的汉字看成一枚新叶，画成一棵“大树”代表08年的落“字”归根，09年的新“字”绽放。

交流的过程中，我感到成都朋友们都特别的亲切，特别的热情，给我介绍各种成都的文化，习俗。在晚餐的时候，还推荐给我吃各种



四川特色料理，我第一次喝了“热啤酒”。与此同时，也看到了成都朋友们坚强的一面。我问了成都同学“四川大地震之后，成都有什么变化吗？”，他们回答说：“震灾确实带来了太多不幸，但是面对震灾的时候，我们感到了全国人民的一致团结，一起面对了重重困难。虽然地震破坏了很多东西，伤害了很多人，但是我想我们在精神上比以前更团结了，更坚强了”。

这次留华网成都会议，虽然时间不多，但是收获颇大，体验到了很多事物，让我思考了很多事情。希望留华网在2009年里，也有更大的突破，更好的成绩。

执笔者：中山晟超  
北京大学国际关系学院  
本科3年级



# 井村雅代教练特别演讲会 齐心协力迎战北京奥运之路 ——花样游泳联结起来的中日纽带——



2009年2月28日(周六)下午2点，在北京市的长富宫饭店内，北京日本文化中心与北京日本人会共同举办了题为《花样游泳联结起来的中日纽带》的井村雅代教练特别演讲会。350余名听众参加了讲座，会场座无虚席。中国国家游泳中心水球和花样游泳部俞丽部长也出席了讲座。下面是演讲会的部分内容。

2006年，中国游泳协会向我提出了执教花样游泳中国国家队的请求。当时我的第一反应即是“奥运会是绝对不容许失败的，为什么中国会提出让我，让一个日本人来当教练呢？”经过一番思考，我想应该可以这样解释这个问题，因为中国花样游泳的领导们希望中国花样游泳队也能够像日本花样游泳队那样，在奥运会上取得好成绩，所以他们才会找到了我。我想，作为同处亚洲的友好邻邦，中国提出的请求我没有任何理由来拒绝，就答应了这件事。

经常有人会提问到一个好的花样游泳选手需要具备哪些条件。当然，腿部修长和良好的柔韧性这些都是必须的，但是，我认为最重要的是“心灵的才能”。也就是遇到再大的困难也不轻言放弃，能够保持自信，坚持奋斗的能力。人类的潜能是无极限的。如果说是有限的话，其实是人本身限制了自己。

为了能够忍耐艰苦的训练，设定目标是非常必要的。不仅仅是“大目标”，每天实现一点的“小目标”也非常必要。我非常喜欢的一个词是“一毫米的努力”。如果你三个月后将自己的垂直起跳高度提高10

厘米的话，你可能会觉得有些勉为其难。但是，如果对你说“明天要比今天再高1毫米”，你会觉得这是有可能达成的。像这样实现每一天的的小目标是非常重要的。

在中国的经历中，让我印象最深的有两件事：四川大地震的发生和胡锦涛国家主席的亲切接见。花样游泳中国国家队中有3名选手来自四川。5月12日发生地震后，她们通过电视画面看到了家乡遭受的巨大灾难，精神受到重创的她们完全无法投入训练当中。我向她们讲述了自己遭遇阪神淡路大地震的亲身经历，鼓励她们在奥运会中勇夺优异成绩，以此来鼓舞四川家乡的人民，为她们带来希望。就这样，她们又重新投入到了训练当中。之后不久，我听说胡锦涛主席要莅临训练场的消息，我感到非常惊喜。我想这将非常好地激励选手们。会见过程中，胡主席向我表达了非常真挚的感谢，让我深受感动。

在我看来，日本人很有毅力、很执着、很专注。而中国人非常有进取心、有强烈的上进心。我想，日本人和中国人之间有许多值得互相学习的地方，应该加深彼此的相互了解。通过真诚的交流与合作，共同携手把亚洲推向世界。

演讲会的后半部分主要以对话访谈形式进行。由中国国际广播电台的王小燕小姐主持，访谈中井村教练回答了听众的提问。听众们积极提问，气氛十分活跃，井村教练还向大家说了几句在中国执教期间学会的中文。下午4点半，讲座在大家热烈的掌声中成功结束。

## 屋久岛：森林秘境

作者李婧(中国日报记者)，于2009年3月3日至3月14日期间，参加了日本国际交流基金会实施的 JENESYS 东亚未来领导者访日项目，访问了日本的东京、博多、长崎、屋久岛等地。

看过宫崎骏《幽灵公主》的人，一定对里面美丽的森林场景念念不忘。而这些森林并非宫崎骏先生凭空想象出来的，它的原型就在屋久岛。

屋久岛位于九州最南端，被称做“海上阿尔卑斯”，也是日本第一个被列入世界遗产的地方。从鹿儿岛乘小型的螺旋桨飞机到屋久岛，只需二十分钟。在气流颠簸之中看着窗外的海面被郁郁葱葱的山顶替代，不知不觉间便已抵达目的地。

屋久岛最出名的还数树龄超过千年的屋久杉，据统计，目前树龄超过2000年的屋久杉大概有2000棵以上，而最为著名的“绳文杉”，据估计树龄已经超过了7000年。

由于岛内大部分的山林仍处于原始状态，“绳文杉”的所在地据说要跋山涉水十个小时才能到达。

不过我们还是有幸在“屋久杉自然馆”中一睹这棵古杉的风采：馆的入口横陈着一片巨大的树枝，是在某次风灾中折断落下的，其重量超过1吨，而它也只不过是“绳文杉”的一个树枝而已。

排名老二的“纪元杉”则容易亲近的多，它耸立在公路旁边，供游客拍照留念。但是当你站在树下仰望时，却无论如何也看不到顶端。已经泛白的枝桠上大部分叶子都已脱落，却又为其他树种的寄居提供了良好的生长环境。因此，看似是一棵树，实则是多种植物的共生体，不由得叫人啧啧称奇。



到了屋久岛，自然不能放过山间徒步的好机会。岛内有三条徒步的路线，分别为30、80和110分钟，可以根据自己的身体条件自行选择。而信奉“无限风光在远处”的我，自然选择了最长的路线。

走在林间小道，一边呼吸着潮湿又清新的空气，一边看着奇形怪状的杉树，让人不由得感叹大自然的神奇。途中偶遇两只小鹿，正在山间小溪悠然自得地喝水，看到人群的到来也并不惊慌失措。

人与自然的和谐相处自古以来都是屋久岛的传统。而近年来，随着屋久岛的名气大增，逐渐增多的游客和徒步爱好者也给自然生态的保护提出了新的难题。

屋久岛国家公园的管理员称，他们已经开始监测游客的增多是否会对自然景观造成破坏，并打算征集“徒步税”已限制游客数量，并为屋久岛的保护争取更多的资金。

## 中国人日本語初心者が間違いやすい日本語について

### 「～てある」と「～ておく」

国際交流基金北京日本文化センター  
日本語教育アドバイザー  
王崇梁

読者の皆さま、今回は初級の文法項目としてよく扱われる「てある」と「ておく」について、一緒に考えてみたいと思います。

まず、次の例文を見てください。正しいと思われるものには○、正しくないと思われるものには×をつけてください。また、その理由も考えてください。

- (1) 寒いので、窓が開けてあります。
- (2) 今週中に作文を出してありません。
- (3) 部屋には誰かによって鍵がかけられています。
- (4) 夜の懇親会のために、いろいろな料理を作っておきましょう。
- (5) 夜の懇親会のために、いろいろな料理を作っていました。

○×をつけることができましたか。答えを見る前に「てある」と「ておく」の使い方を見ましょう。

「～てある」  
「V(他動詞)+てある」

①動作主の意図を重視した言い方で、変化した動作の結果が現在まで保たれていることを表します。「結果の状態の持続」という言い方もあります。

- (6) 机の上に本が二冊置いてあります。
- (6) 桌子上放着两本书。
- (7) 今週の予定は手帳に書いてあります。
- (7) 本周的打算都写在笔记本上了。

例(6)は誰かが意図的に本を机の上に置いたという意味が含まれています。例(7)も誰かが忘れないため、自分の一週間の予定を手帳に書きました。

②何かの目的であらかじめ準備することを表します。

- (8) コンサートのチケットはもう買ってあります。
  - (8) 音乐会的票已经买好了。
  - (9) きちんと予習を済ませてあります。
  - (9) 比较充分地作完了预习。
- 「～ておく」

「V(動詞)+ておく」

①何かの目的のために、あらかじめある行為をするという意味を表します。中国語に訳すと「预先」「事先」「～之前」などに当たります。

- (10) 旅行する前にガイドブックを読んでいます。

- (10) 去旅行之前先看导游书。
- (11) 今晚お客さんが来るので、部屋の掃除をしておいてください。
- (11) 今晚有客人要来,请事先把房间打扫干净。

②動作・状態の持続をそのまま放置する意を表します。

- (12) 午後も会議があるので、机と椅子はそのままにしておいてください。
- (12) 下午还有会,桌子和椅子就这样放着吧。
- (13) ドアはこのまま開けておきましょう。
- (13) 门就这样开着吧。

③一時的な処置としてある行動を行う意を表します。

- (14) このことをどうか心の隅に置いておいてください。
- (14) 请把这件事记在心里。

以上、「てある」と「ておく」の主な使い方を見ましたが、次に、「てある」と「ておく」の共通点と相点について考えて見ましょう。

1. 「てある」も「ておく」もあらかじめ何かするという使い方はよく似ています。

- (14) 今晚のパーティーのために、豪華な料理を準備してあります(準備しておきました)。

(14) 为今天的晚宴准备了丰盛的菜肴。しかし、「てある」は常に他動詞と一緒に使いますが、「ておく」は他動詞のほかにも、例(15)のように自動詞でも仮定条件や希望の文脈などであれば使えます。

- (15) こういう病気は子供のうちにしておくくと軽症ですむから。

(15) 因为这种疾病在小孩时患的话对人体的伤害比较小。

2. 「てある」は「結果の状態の持続」を表すので、「てある・てあって・てあった・てあります・てありました」の形をとりますが、「依頼」「てあってください・てありなさい」、「命令」「てあれ」、「意志行為」「てあろう・てありたい・てあるつもり」のような使い方はありません。

一方、「ておく」は意図的に何かをするという意味があるので、「依頼」「ておいてください」、「命令」「ておけ」、「仮定」「ておけば」、「意志行為」「ておきましょう・ておきたい・てお

くつもり」など、後続するものに特に制限はありません。

3. 「てある」は「結果の状態の持続」を表す場合、「物」あるいは「作業」が主語・主題になります。また、「てある」は受身文と違って、動作主を「～に/～によって」(例(3))などの使い方もしません。

一方、「ておく」は人が主語・主題になります。

- (17) 試験までにこの本を読んでおきなさい。
- (17) 请在考试之前把这本书念完。

以上、「てある」と「ておく」の共通点と相違点を見てきました。ここまで来て、(1)～(5)の答えも分かったでしょう。答えは(1)(4)は○、(2)(3)(5)は×です。

最後に、実際に教えるときに、どのように教えたらいいか、について考えてみます。

中国で出版された教科書の一部を調べてみましたが、「ておく」と「てある」は別々の課で提出されているものもあれば、『大家的日語』のように同じ課で提出されているものもあります。実際に教えるときは次の点をしっかりと抑えたほうがよいと思われます。例えば、

- (18) 対策を考えてある。
- (18) 対策を考えておいた。

中国語に訳すと両方とも「想好了对策」になり、その違いは構文上には表れません。そのため学習者には「考えておいた」は事前に「考えた」ことを強調しますが、「考えてある」も事前に「考えた」が、その効果が今も残っていることを強調します。また、用法上の大きな違いとして「ておく」は意志行為なので、「ましよう・たい」など意志・命令などを表す後続句が付きませんが、「てある」は状態表現なので、意志・命令などの表現はできません。

参考文献:

日本語教育学会編(2005)『新版日本語教育辞典』大修館書店

友松悦子他(2007)『どんな時どう使う日本語表現文型辞典』アルク

監修佐治圭三(1996)『日本語教師養成シリーズ文法』東京法令出版

監修松岡弘(2000)『日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク

## 2009年春季高中日语教师研修会

3月12日至15日,在北京市内举行了“2009年春季高中日语教师研修会”。本次研修会由日本国际交流基金会北京日本文化中心和人民教育出版社课程教材研究所共同主办,有50余名教师参加。

本次研修会将《普通高中课程标准实验教科书日语4・5》作为主要素材,主要探讨“日语语音”和“听力教学法”,使与会老师能够较好地了解和掌握、运用新教材。同时,为使高中教师更好地了解高考的相关政策、近年来高考的动向等,也特别邀请到相关人员就高考问题与广大教师进行交流。此外,我们还有幸邀请了早稻田大学细川英雄教授就有关日本事情教授法的内容做了精彩讲座。研修会的最后我们还安排了有趣的、富有日本特色的“日本纸牌大会”活动,这是一项既能促进日语学习又能使大家了解日本文化的游戏。与会教师们大多是初次体验此文化项目,大家都怀着浓厚的兴趣积极参与使大会的氛围热情高涨到了顶点。

通过此次研修,老师们积极研讨并交流,相信每一位与会教师都有不同的收获和感受。同时我们也在老师们的反馈中不断完善,希望在下一期的研修会中让更多的日语教师学习到更好的技能,充实自身的能量。

敬请期待2009年夏季研修会。



## 教材介绍

国際交流基金北京日本文化センター

日本語教育専門家

橋本さり



突然ですが、現在世界中で使用されている自然言語のうち、音声を持たないものがあると思いませんか。答えは「ゼロ」です。文字を持たない言語は数多くありますが、音声を持たない言語はないそうです。コミュニケーションする上で「音」が第一義的なものならば、外国語学習の現

場においてもそうであって然るべきかと思えますが、実際には、特に教室のような環境では、音声よりも動詞・形容詞の活用や文型などの「形」や「意味」の方へ飛びつきやすいのではないのでしょうか。あるいは「文字の読み方」のように二義的なものへとすりかえられている場合も多いと思います。という訳で、ここでは音声あつてのことばを大前提に教材を紹介しします。

書籍名: 上級の力をつける聴解ストラテジー(上・下)CD付き

筆者: 川口さち子・桐生新子・杉村和枝・根本牧・原田明子 共著

出版社: 凡人社

出版年月日: 2003年6月10日 初版

言語: 日本語

対象者: 日本語能力試験1級を目指す学習者など

今まで、聴く力を伸ばすよう努力しても慣れないしかないひたすら聞いたり、文字を見るまで結局わからなかったり、聞く時の不自由にもどかしくなったことはありませんか。書名からわかるように、この教材の特長はストラテジー別の構成になっている点です。解決法が分からないまま繰り返し練習するだけでなく、大人の学習者にきちんとわかるよう、理論も交えた7種類のストラテジーを具体的に示してあります。初めの説明にあるように、1～8章を順に学ぶ必要はありません。個人的には、1章の「音声の特徴をつかむ」のあと、5章の「イントネーションなどから発話意図をつかむ」へ行くこと面白いのではないかと思います。

この『上級の力をつける聴解ストラテジー上・下』と図書館コーナーの新刊紹介にある『音声を教える』と合わせ、日本語の「音」に改めて取り組んでみてください。

■日本国际交流基金会主办  
■赞助, 协办, 后援等

# 12月 DECEMBER

- 7日/ 日语能力测试 (中国30城市)
- 9日-23日/ 写乐再现展 (深圳)
- 12日-14日/ 中国日本語教学研究会2008年度年会 (广州)



- 13日-14日/ 第一屆中日韓民間交流論壇 (上海)



- 17日/ 系列講座第3回 鈴木貞美演說會 (日本文學) (北京)



- 19日/ 首屆北京大學二年級學生日語演講比賽 (北京)

- 19日/ 北京語言大學日語協會第三屆紅白歌會 (北京)

- 20日-15日/ 秋元珠江、小阪淳二人展“嫡-混沌と秩序” (北京)

- 21日/ 中日交流文化祭 (沈陽)

- 22日/ 海南省第二屆日語戲劇大賽 (海口)

- 22日-24日/ 2008REAL 日本記錄片影像交流會 (北京)

- 25日-27日/ 演劇公演「杏仁豆腐のココロ」 (香港)

- 26日/ 2008年北京市高校日語教師聯誼會 (北京)

# 1月 JANUARY

- 10日/ 系列講座第4回 本田雅俊演說會 (日本政治) (北京)



- 10日/ 第3回新春餅つき大会in大連 (大連)

- 12日/ 系列講座第4回 本田雅俊演說會 (日本政治) (武漢)

# FEBRUARY 2月

- 2月4日-3月20日/ 2008年度中國中學日語教師訪日研修 (北京)

- 6日/ 李銳·毛丹青特別演說會 (北京)



- 15日-16日/ 第三屆中國中學日語教師訪日研修參加者集中研討會 (北京)



- 15日/ 東亞武士道研究國際研討會 (北京)



- 2月25日-3月2日/ 日台震後住房重建融資機制演說會 (北京)

- 2月27日-5月29日/ 2009年春季日語教育研究講座 (北京)

- 28日/ 系列講座第5回 井村雅代特別演說會 (北京)



# MARCH 3月

- 7日-8日/ 中國大學日語教師訪日研修同窗會與別講座 (北京)



- 8日/ 東京學藝大學谷部弘子教授特別講座 (西安)

- 12日-15日/ 2009年春季高中日語教師研修會 (北京)



- 20日-29日/ “中日友好杯” 羽毛球公開賽 (北京)

- 21日/ 漫畫座談會—日本漫畫在中國與中國新漫畫 (北京)

- 21日-28日/ 雲南大學日本文化周 (昆明)

- 27日-28日/ [漢字文化圈近代言語文化交流研究] 國際研討會 (天津)



- 28日/ 日本文化系列講座——第一場『日本的流行文化』 (北京)

## 活动预告 Activities notice

- 4月3日-5月24日/ アヴァンギャルド・チャイナ—中国当代美術>二十年— (名古屋)

- 4月9日/ 系列講座第6回 浅谈日本当代演剧及其对中国话剧的影响 (北京)

- 4月18日/ 日本文化系列講座——第二場『和式點心·茶道』 (北京)

- 5月7日/ 日本文化系列講座——第三場『日本的時裝文化』 (北京)

- 5月23日/ 日本文化系列講座——第四場『日本的建築·設計』 (北京)